

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先:虎ノ門事務室[メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科 目 名		科目コード	単位数	開講期	講義形式
戦略思考要論		Z 100	1 単位	1学期 4学期	ハイフレックス
Essentials of Strategic Thinking					
科 目 分 野		課 程 領 域			
戦略思考・コンサルティング		イノベーションマネジメント共通科目			
担 当 教 員 名	メールアドレス		連絡方法 / オフィスアワー		
三谷 宏治	-		土曜日		

関 連 し て い る 科 目 (履修推奨科目)		
ほぼ全科目		

授 業 の 概 要 と 到 達 目 標

授業の主題と概要

ビジネスにおいて必要なのは、単なるロジカル・シンキング力でなく、ビジネスにおける様々な状況を俯瞰的かつ連携的に捉えられる「戦略思考」能力である。超基礎である「重要思考」とともに、様々な戦略論やツールを統合するフレームワークとしての「B3C」を中心として、独自の思考スキルを当専攻の受講生全員が身につけることを、この科目の目的とする。

- ① 企業戦略・変革の本質的な成功・失敗「メカニズム」(要因、ではない)を理解する。そのための、基礎的な思考力を鍛えることがこの講義の第一義である
- ② 基礎的思考力の一つがロジカル・シンキングの一部である「重要思考」である。これは思考や発言のあらゆる機会を捉えて試み、フィードバックすることで徹底していく。
- ③ もう一つが「B3C」等であるが、これらは主に(ミニ)ケーススタディを通じて、繰り返し練習する。

到達（修得）目標

1. 全てのビジネス思考の基礎となる「重要思考」を修得する
2. 戦略思考の基礎となる「重要思考」「B3Cフレームワーク」を修得する

受講対象者

イノベーション・マネジメント専攻の全受講生・科目等履修生

履 修 上 の 注 意 事 項 や ア ド バ イ ス

※2学期以降の「戦略思考特論」「CRM特論」「戦略思考演習」受講希望者は、単位修得が必須

事前に、ロジカル・シンキングについては下記テキストなどで予習・練習しておくこと。また基本ビジネス・経営用語の知識を前提とするので、『経営戦略全史』『ビジネスモデル全史』は講義開始時までには熟読しておくこと。

★出席はきわめて重要。

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域（Y軸）		ヒューマンパワー（Z軸）		思考プロセス（X軸）	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	○
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力		X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力	○	X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プ ラ ク テ ィ カ ム

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	独自コンテンツの講義	講義	PPT
2	ロジカル・シンキング演習	演習	
3	トレッサ横浜	ミニケーススタディ	当日配布
4	サバイバル 1. 2.	ミニケーススタディ	当日配布
5	スタインウェイ&サンズ	ケーススタディ	要 購入
6	DELL	ケーススタディ	要 購入

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席	10%	クラス貢献はクラスでの発言の量と質を加味する。発言がなければ当然、不可となるので注意のこと。 毎回、事務室より出席簿を準備する。
クラス貢献	50%	
最終レポート	40%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	ケース: スタインウェイ・アンド・サンズ (9-607-J17, HBS) * ケース: デル・コンピュータ (9-705-J04, HBS) * ①『[新版] 一瞬で大切なことを伝える技術』三谷宏治 (三笠書房) ②『経営戦略全史[完全版]』三谷宏治 (日経BP)	①②は基礎知識として講義開始時までに目を通しておくこと。 ケースは各自が購入し、事前に熟読しておくこと
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	③『一瞬で大切なことを決める技術』三谷宏治 (中経の文庫) ④『実例で必ず身につく 一瞬で大切なことを伝える技術』(かんき出版) ⑤『戦略思考ワークブック』三谷宏治 (ちくま新書) ⑥『ビジネスモデル全史[完全版]』三谷宏治 (日経BP: 2025年10月刊行予定)	* https://harvard.bookpark.ne.jp/ にて、スタインウェイとデルを購入の際は、各々 607J17, 705J04 で検索できる。
参考URL		
適宜紹介予定		

コマ	学 習 内 容		事前準備・課題	担当者	時間
1.2	重要思考と伝える・決める力演習		②『経営戦略全史』と①『〔新版〕伝える技術』を読んでおく	三谷	180分
	イベント	ミニケーススタディ: サバイバル1、サバイバル2(当日配布)			
3.4	戦略思考フレームワークとミニケース演習		③『決める技術』、④『実例 伝える技術』、⑤『戦略思考ワークブック』で復習しておく	三谷	180分
	イベント	ミニケーススタディ: トレッサ横浜分析(当日配布)			
5.6	B3C: 市場の定義と分析力		『スタインウェイ』の熟読と、市場等の分析	三谷	180分
	イベント	ケーススタディ: スタインウェイ&サンズ			
7.8	B3C: コスト構造と価値分析		『デル・コンピュータ』の熟読と、コスト構造等の分析	三谷	180分
	イベント	ケーススタディ: DELL			

※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。

※ 学習内容、スケジュール、講義形式は、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。

2025.08.27